

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気判断「緩やかに回復」を維持 財務省の10月経済情勢報告

・財務省は10月の経済情勢報告を公表。全国の景気判断は「緩やかに回復しつつある」とした。判断は9四半期連続で据え置いた。地域別では全11地域で3カ月前と同じ景気判断とした。財務省内で同日開いた全国財務局長会議で報告した。個人消費は物価高の影響で勢いを欠くものの、訪日客の増加などで宿泊・旅行分野が好調だった。

◆9月実質賃金1.4%減、9カ月連続マイナス 物価に賃上げ追いつかず

・厚生労働省が発表した9月の毎月勤労統計調査によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比で1.4%減った。賃金は伸びているものの物価上昇に届かず、9カ月連続のマイナス。名目賃金を示す1人あたりの現金給与総額は29万7145円と1.9%増えた。基本給にあたる所定内給与は26万8653円で1.9%伸びた。

◆2025年夏のボーナス平均42万円 厚労省集計、前年比2.9%増

・厚生労働省が発表した2025年夏季賞与の集計によると支給した事業所の1人あたりの平均額は42万6337円と前年から2.9%増えた。夏の賞与としては4年連続で増加。大小の事業所間で伸び率の差は大きくなった。平均額は01年以来の高水準となった。賞与を出した事業所は調査対象全体の73.4%に上り、前年より0.4ポイント上昇した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京都、相場2割安賃料で住宅供給 野村不動産などと子育て世帯向け

・東京都は手ごろな家賃で住める「アフォーダブル住宅」を供給する総額200億円以上の官民ファンドの運営事業者候補に、野村不動産や三菱UFJ信託銀行などを選定。2026年度から順次、相場の2割安程度の家賃で約300戸を供給する。賃料が上昇するなか、子育て世帯が都内に住める環境づくりを目指す。

◆固定金利型の住宅ローン「フラット35」、融資限度額上げ 国交省検討

・国土交通省は住宅金融支援機構が提供する全期間固定金利型の住宅ローン「フラット35」の融資限度額の引き上げを検討する。限度額は現在8000万円で2005年から変わっていない。建築費の高騰などが続いており、今秋にとりまとめる政府の経済対策に盛り込む方向で調整。引き上げ額に関して財務省などと協議に入った。

◆中小企業庁が賃上げ支援サイト開設 3ステップで原資確保を

・経済産業省・中小企業庁は最低賃金引き上げに対応する中小企業・小規模事業者を支援するための「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」をオープン。賃上げに関連する補助金や相談窓口といった支援策の最新情報を提供。賃上げ実現に向けた「3つのステップ」を紹介。賃上げを実現しつつ収益を確保するための方法について、順を追って説明。

《 注目商品 》

■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」＜FU-U40＞

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機の新シリーズ「Purefit(ピュアフット)」＜FU-U40＞を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用。



■グローエ、キッチン水栓「ミンタ」

・多様なスパウト形状と機能性で人気のキッチン水栓「ミンタ」シリーズに、水はね低減機能を搭載した新モデル7種類をラインアップ。日本国内のユーザーの声に応え、ドイツオリジナル品の散水板に改良を加えることで、水はねの少ない「ソフトスプレー仕様」を採用。



■トソー、コンパクト設計の電動カーテンレール「レガートコモ」

・コンパクト設計の電動カーテンレールの新製品。レールはマットなフィルム仕上げで、プーリーの前面をフラットにすることで、空間に調和するシンプルなデザインを実現。操作音も手引きのカーテンレールよりも静かで、寝室などでも快適に使用できる。

